

農業センターのコンセプト

1 経緯と現状

農業センターは農業技術の研究及び指導を行うとともに、住民に公開して農業知識の向上に資するため、昭和40年4月1日に開設されました。



開園から50年以上経過し、施設の老朽化が進んでおり、また、農業を取り巻く環境も大きく変化しました。

2 農業公園のあり方等

今後の農業公園のあり方を明確にするため、農業公園の使命を以下のとおりとしました。

- ①「農」の情報発信
- ②「農」の振興・支援
- ③レクリエーションの場の提供



また、名古屋市農業振興基本方針「なごやアグリライフプラン」では、「農のある暮らし、街とともにある農業」を目指す姿としております。



以上から、農業センターに求められることは、

気軽に「農」に関われる環境づくり
(「農」を楽しめる体験イベント等)



地産地消の促進（「なごやさい」等を通じ、消費者と生産者をつなぐ役目）



食農教育を推進し、「食」の根本を支える農業の大切さを伝えていくこと

と考えております。

3 農業センターをどうしていきたいか

農業センターは農業と市民をつなぐ農業公園として

子どもたちが「農」のある暮らしを体験できる農業公園

を目指して、民間活力導入により、さらに魅力ある施設にしていきたいと考えております。

例)

- ・「農」を活かした飲食・物販施設
- ・畜産動物とのふれあい
- ・企業と連携した食育・食農体験

